

2015/16 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



世界へのプレゼントになろう

第 2514 回例会 2015 年 9 月 9 日 (水) SAA (司会) / 長田会員 会報担当 / 伊藤会員

事務局 市原商工会議所内 市原市五井中央西 1-22-25 例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正
- ソング 我等の生業
- お客様 米山奨学生 李俊傑様
- 会長挨拶 市原 RC 会長 万崎英正



先月 8 月 2 日に PetalingjayaRC からグローバル補助金計画提案書が送られてきましたので皆さんに連絡いたします。

内容は

Temerloh & Petalingjaya RC2015/16

合同グローバル補助金計画提案書

概要

この計画のR財団グローバル補助金は Temerloh と Petaling jaya

双方のRCで企画され、それに日本の RI2790 地区 (PJRC) の姉妹クラブである市原RCを経由) の協賛でなされます。両クラブはTRFグローバル補助金申請の承認を得ているクラブです。

このプロジェクトは Paya Mengkuang Orang Asli ビレッジに既存するコミュニティーホールの修繕をするものです。このコミュニティーホールは図書館、コンピューター室、ボランティア指導者のための部屋からなり、2つのトイレも必要です。

財源

Temerloh RC と Petaling Jaya RC はこのプロジェクトのために地区に USD10,000 の DDF を申し込んでいます。両クラブはその条件とされる 50% の DDF 充当金として、各々 USD2,500 を今年度用意しております。

国際的パートナーとして、Petaling Jaya RC は姉妹クラブである日

本の 2790 地区市原RCへ USD7,000(85~90 万円) の協力を要請しています。

3300 地区と 2790 地区で USD17,000 を、このプロジェクトへ拠出します。R財団より USD17,000 のグローバル補助金をこのプロジェクトへ支給くださいますようお願い申し上げます。ということで当クラブも 9 月の理事会で、この事業への賛否と拠出金等を含めて検討中です。会員の皆様には追ってご連絡いたします。また、詳細は今例会の週報の会長挨拶の中で掲出してございますのでご覧ください。

本日の卓話は RC キャリア 40 年の上条会員の「私のロータリー理念」というテーマでの卓話です。どんな話が聞けるのか、しっかり勉強したいと思いますのでよろしくお願い致します。

●幹事報告

◎細則 (案) は 9/30 採決致します。

◎蔵内会員が病気のため入院されました。

◎次回例会はガバナー補佐訪問です。宜しくお願い致します。

■委員会報告

長期計画小委員会 西村委員長

「クラブ活力テスト」の結果報告

去る 8 月 5 日の例会場において、また、欠席者には連絡をとりまして、結果 41 名中 33 名の会員に回答をいただきました。その集計したものが別紙です。

このテストの前提となるのは、どんな組織も、時が経過し組織が拡大し複雑化するとともに、残念ながらその機能が硬直化し活力を失っていくという考え方です。そして今、私たちのクラブがどのような状況下にあるのかを自己診断し、その評価に基づき対策を講じるために行いました。

そこでこのテストの質問は、次の 5 項目

1. 理念・方針の浸透とリーダーシップ
2. 社会貢献
3. 魅力あるクラブづくり
4. 効率的なクラブ運営
5. 活動の成果

で、実施しました。

その総合評価は、全体では 52.7 点で、ガイドラインによりまずとレベル C 評価でした。個別的では、問 3 (魅力的クラブづくり) と問 4 (効率的なクラブ運営) が全体的に評価が低く、問 2 (社会貢献) は高評価で地域貢献基金などが反映されたのかなと思います。そして、問 1 (理念・方針の浸透とリーダーシップ) は、在会歴の長短により評価の違いが歴然と出ました。

長期計画委員会として、次なるクラブ運営改善のための基礎資料を得るために「会員満足度アンケート」を実施することにしました。準備が出来次第、9月下旬か10月上旬に行います。会員の皆様にはお手間を煩わせて誠に申し訳ありません。

そして、11月以降に、これらの提起された問題点を改善するためにテーブルディスカッションを何度と行い、全員参加で取り組んでいきたいと思っております。

クラブの活性化のために是非ご協力願います。

ロータリー財団委員会 岡本委員長

多くの方々から寄付をお願いしておりますが、角谷会員からポ1,000ドルの寄付がございましたのでご報告いたします。

親睦小委員会 篠田委員長

10/14の東京RCへの移動例会ですが、現在12名の出席です。本日は受付いたしておりますのでよろしく申し上げます。

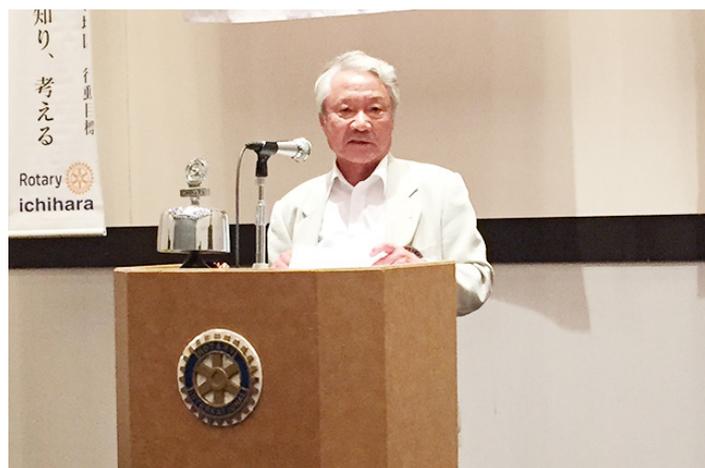
始関研修リーダー

本クラブが米山功労クラブ賞をいただきました。ご報告いたします。

本日のメインプログラム

会員卓話 私のロータリー理念

2015-16 職業奉仕委員長 上條優雄会員



今年度の職業奉仕委員長として、うすっぺらな卓話ですが私の責めに代えさせていただきます。

冒頭に私の好きな言葉をご紹介します。

「身を削り、人に尽くさんすりこぎの、その味知れず、人と尊し」 曹洞宗開祖 道元禪師

この言葉を思い出すと私が小学校に入学したころの父親を連想するので。私は良くすり鉢でトロロを作らせられました。両足裏ですり鉢を挟み、汗だくになって摺りこ木棒を廻します。ときときお袋がだし汁を継ぎ足します。それを麦飯に掛けて食べるのですが、親父の好物で、トロロだと親父はいつも旨そうにお替りをするのです。戦後の食料難の時代の最高のご馳走でした。

すりこぎ棒は山椒の木が本物だと思いますが、僅かに山椒の香りがトロロに移って、一味増すのです。今はたいていの家庭がフードプロセッサーで作るのですが、本来の味は出ないですね。そんなすりこぎ棒のような人間になれば良いと思っています。

この道元禪師の教えは、ロータリーの第1モットー「超我の奉仕」(Service above Self)と同じ意味合いでしょう。このモットーはロータ

リー創世記のシカゴRCフランク・コリンズの言葉ですが、これを広めたのはRI初代の事務総長チェスリー・ペリーだと思います。シェスリー・ペリーは30年もの間、RIの事務総長をされた方で、後日ポール・ハリスに「もしチェスリー・ペリーが居なかったら今日のロータリーは無かつたろう」と言わせたほどの人物です。

ついでに、ロータリーの第2モットーも紹介しておきましょう。「最も良く奉仕する者は最も良く報われる」(He profits most who service best) (上條の翻訳:良く奉仕する人は、きっと大成しますよ) 提唱者はアーサー・シュルドンで、ロータリーの哲学者と呼ばれたロータリアンです。このロータリーの2つのモットーは、当クラブの活動計画書に毎年掲載されている、決議23-34の中核的部分です。1923年の規定審議会で34番目に採択されたという意味で、90年以上を経過しても、変わらずロータリーのモットーとされているのです。

今、生存する日本の経営者で、一と云って二と下らない人は、稲盛和夫さんでしょう。稲盛さんは京セラの創設者であり、電電公社(NTT)に対抗するために第二電電(現KDDI)を創設しました。

6年ほど前でしょうか、倒産した日本航空(JAL)を見事に再生して、3年間で東商1部に再上場させました。その稲盛さんが請われてJALの立直しを引き受ける時、鏡に向かって自問自答したそうです。「動機善なるや、汝に私心無かりきか、利他の心で臨みたるや」この再生の3年間、稲盛さんは一円も給料を貰わなかったそうです。ただただ、JALの社員のため、社会のため、と念じて挑みましたから、信じられないような成功を収めたのです。「利他の心」なのです。

私の従弟はJALの羽田で整備士をしておりました。その妻はJALのステューアードで、職場結婚です。JALは48,000人の社員を30,000人へ18,000人の人員削減を行いました。従弟夫婦はその内の2人なのです。従弟に聞きました。「稲盛さんをさぞかし憎いだらうね」従弟はたった一言、「別に・・・」ですって。私の兄も小さな会社を営んでいましたので、JALをやめても親元の会社に就職すれば生活に困るようなことは無いですが、所得は半分以下になったと思います。でも、JALの為に希望退職者を募集されたときに、手を上げたのです。この稲盛さんが言う「利他の心」も同義語でしょう。

当クラブのバスター会長・南山 治さんは何かに付けて口癖のように「利他と利己の調和」という言葉を使われていました。南山さんは「自分を犠牲にしての他人への奉仕は長続きしないよ」とも言われ、説得力があったと思います。

こうして考えてみると、他人に慕われる徳のある人の言葉は、古今東西、異口同音ですね。この辺に私たちが目指さねばならない、悟りの境地があるようです。

例会場にいつも掲示されている「ロータリーの目的」。2年ほど前までは「ロータリーの綱領」と表記されていましたが、原文はThe purpose of Rotary でした。日本語訳だけが変わっただけです。このロータリーの目的は冒頭に、こう書かれています。「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあり。」そして具体的に4項の説明がなされおり、文中に4回の「奉仕の理念」という言葉が記されています。これは2年ほど前までは「奉仕の理想」と記されておりました。原文は、The Ideal of Service でした。これも日本語訳だけが変更されたに過ぎません。「綱領」を「目的」に、「理想」を「理念」に翻訳変更されて、少しは解り易い文面になったような気もしますが、それでも良く解らないというのが、多くのロータリ

アンの一致した意見ではないでしょうか。昨年度の職業奉仕委員長・西村芳雄さんが、年度末の活動報告で、「一年間、職業奉仕委員長を仰せつかり、それなりに勉強したつもりだが、今だに職業奉仕とは何かを理解できない」と言われていました。来年の会長である西村さんが、まじめに取り組んでの率直な感想です。地区の職業奉仕委員会役員の話も聞いたでしょう。地区協ムクラブリーダーシップ研修も受けたのでしょ。でも、解らないということなのですから、ほとんどのロータリアンは解らないと言って良いでしょう。ましてや、私の話をここで聞いて、解るはずがありません。だって、私自身が解っていないのですから。

ともかくも「ロータリーの目的」は「奉仕の理念」を自らの職業で貫くということとして、その「ロータリーの理念」は決議 23-34 に書かれている「超我の奉仕」(Service above Self) の精神を貫くことのようにです。

十数年前のことですが、日本のロータリアンで作る任意団体でJRICというのがあります。ロータリー活動に熱心な人たちの組織です。そのJRICの懇親会で、大きな話題になったのは、某北海道の肉屋さんで、牛肉に豚を混ぜて牛挽肉として売っていたのを、従業員の内部告発で世間沙汰となり、その肉屋の社長が某ロータリークラブのバスター会長であったことから、職業奉仕を大切にすロータリアンとしてとんでもないことだ、と批判されたのです。そのJRICの懇親会で私の隣にいたロータリアンは北関東地区の土建業の社長さんだったのですが、小声で私に言いました。「談合は良い事だとは言わないけれど、談合なしでは日本の土建業は成り立たなくなってしまう」市原RCに戻って、鹿島建設の千葉支店長をしていた境バスター会長へ、そのお話をしましたら、「その通りで、談合は必要悪です。談合無しで日本の土建業はなりたちません」と言われました。当時、私の職業分類は石油小売業で、私も千葉県の石油組合の役員をしていました。ガソリンスタンドの小売価格について、闇カルテルがあったとは申しませんが、暗黙の内に常識的な販売価格を守る風習があったことは事実です。

「奉仕の理念」はあくまで「奉仕の理想」なのです。理想なので、現実には「超我の奉仕」を貫きとおすのは、我々凡人には無理です。少しでもその理想に近づこうと努力するのみで、死ぬまで悟りの境地に達することは無いでしょう。道元禪師は13歳のときから仏門に入り、座禅三昧の中から、悟りを開いたのです。稲盛さんは、セラミックの開発に血道を削って、潰れかかった京セラを立ち直らしたのです。彼らは大変な苦勞の中から、悟りの境地に達したのであって、地区の職業奉仕委員やクラブの経験豊かなメンバーの職業奉仕の宅話を聞いて、悟りを開こうというのは、虫が良いすぎます。普段の社会生活の中で、地域に奉仕を重ね、その経験の中から、他人の尊敬の念を集めるような魅力ある自分を作っていくしか、方法は無いと思うのです。

幸いにロータリー活動の中には奉仕のチャンスが無数にあります。国際奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、クラブ奉仕と、やる気になれば沢山の奉仕する機会が待っています。有名なバスターガバナーで佐藤千寿さん(東京東RC)という方が居ます。ロータリーの語り部と評する人もいるくらいで、特に職業奉仕については、沢山の著書を出しておられます。この佐藤千寿さんのお考えを真似しますと、決議 23-34 は手続要覧の社会奉仕の説明資料として掲載されています。2013年版では65頁です。何故、職業奉仕の説明資料となっていないのでしょうか。

その理由を佐藤さんは、こういいます。「ロータリアンは社会奉仕を初め、あらゆる奉仕活動を行うことにより、他のロータリアンや一般社会の皆さんから感謝される機会が多くなります。奉仕するすばらしさを知ることになるでしょう。つまり多くの人の人心を得ることになるのです。それが「奉仕の理念」であり、その理念を持って、自らの事業の社員、取引先、お客様に接するとき、職業奉仕を成し得るのです。ですから、率先してロータリーの奉仕活動に参加して下さい。その経験値を積みば積むほど、貴方の職業は反映することになります。He profits most who service best です。ロータリークラブは貴方の良き道場なのです」

私はロータリーに在席して40年を超えましたので、そうした奉仕する機会を沢山経験させていただきました。その実体験の中から2~3の例をご紹介します。

現在ホストしております市原中央高校インターアクト部は2007/08年角谷会長年度の終盤で誕生しました。その翌年度の新世代育成委員長、すなわちインターアクト部の担当を私が仰せつかりました。新生IA部を生かすも殺すも私の手腕にかかっているわけで、大きな責任を感じながら当たりました。私は以前、県立京葉高校にIA部を置いた時分に、IA委員長や青少年委員長を経験したことがありましたので、ともかくIA部の例会に頻繁に出席し、その上で何か言わずに、子供達の自主性を重んじることに徹しました。何人の子供達の名前が覚えられるか、それが私の目標でした。子供達は見事に自ら奉仕の道を見出し、それを実践してくれました。そのひとつが、ポリオ撲滅のためのペットボトルキャップ集めです。収集箱が3つ欲しい、と言うことで当クラブへ寄付の要請があったのですが、年初の計画には無い事業であり、理事会での判断を待たねばなりません。それではせっかくやる気になった子供達の腰折れになってしまいます。数万円の出費だとは思いますが、即決で収集箱を買い付けました。勿論、後日理事会でも承認され、私は立替え分を回収できましたが……。新生IA部は初年度から立派に活動してくれ、会員数でも活動内容でも、地区内の他のIA部に勝るとも劣らないクラブに成長してくれました。

6月が来て、私のお役が終了するときに、毎月と同様にIA部例会に出席しました。例会終了直前に、壇上に呼び出され、IA部会長より花束を渡されたのです。その花束は、多分、千円か千五百円程度の貧素なもので、明らかにIA会員たちがお小遣いを出し合って購入した花束なのです。私にはそれがすぐに解りました。同時に胸が一杯になり、お別れの挨拶も、そこそこに退席させていただきました。こんな感動をロータリーはプレゼントしてくれるのです。

今度は国際奉仕の思い出です。20年も前になるかと思いますが、姉妹クラブのRCPJの創立記念例会に妻と2人で出席したときです。RCPJは7つも姉妹クラブを持っており、東南アジア地区の大勢の姉妹クラブメンバーが参加して、500名ほどの記念例会なのです。ただ、日本の姉妹クラブである私たちは、RCPJの誕生日が1月9日であり、日本では新年行事と重なる時期のため、例年この式典には出席する人が居ないのです。式典が始って、参加者の紹介となったのですが、日本が一番遠い国だったので、君が代が流れ、末席に座っていた私達夫婦が起立しますと、500名の視線が一斉に私たちに注がれました。記念例会が終盤に懇親会となりますと、多くの参加者が入れ替わり立ち代り、私達夫婦の席に来られて、「良く日本から参加してくれました」と感謝され、国際交流に寄与できたことを実感しました。日本は東南アジア各国の尊敬の念を一心に集めているのですね。東南

アジアのリーダーシップを取って、アジア全体の平和に寄与せねばなりません。米山梅吉さんの心情が良くわかります。

もうひとつご紹介しましょう。2～30年前は530（ゴミゼロ）運動というのがあり、有志のロータリアンと、当時は京葉高校でしたが、インターアクターで、平成通りの五井駅前から5～600mぐらいのゴミ拾いをやりました。けっこう清々しい気分になれるものです。そこで当時は小学生でしたが、私の息子と娘に海開き前の九十九里海岸へ、焼き蛤を食べに行こうとドライブに誘うのです。そして砂浜のゴミ拾いを家族でやりました。ある若いアベックが空き缶を私たちの前に投げってきたのです。拾わない息子に、拾いなさいと言って拾わせました。息子はむかついた顔をしながらそれを拾いました。ゴミ袋がいっぱいになり、そろそろ終わりにしようかなと思っていた時、海の家開設準備をしていた初老の女性が、「ご苦労様、これを飲んでね」といってラムネをご馳走してくれたのです。子供達にとってラムネは珍しく、美味しかったようです。

奉仕するときに得る感動は、クラブ奉仕も含めて、あらゆる奉仕部門にあると思います。でも、一番多いのは青少年に関する奉仕活動でしょうか、次いで国際奉仕にも多く感じます。

職業奉仕というのは行動ではありません。理念なのです。実践行動は他の奉仕活動にあるのです。今年CLPの本格導入を万崎会長は目指しています。また、会員増強活動も強力に進めなければなりません。会員の皆さんは、これら奉仕活動に自ら望んで積極的に参加してください。それが、楽しく、夢のある、我が市原RCを作る基になるのです。そして貴方自身も魅力のある人間になること請け合いです。

先ほど、関東の名物PGである佐藤千寿さんを紹介しましたので、手落ちになるといけませんので、ここでは関西の名物PG深沢純一さんをご紹介します。彼は伊丹ロータリークラブの会員で、弁護士であり学校法人経営者でもあります。その彼に言わせると、「ロータリークラブというのは、大きな樽に里芋を入れ、掻き混ぜ棒でゴリゴリ掻き混ぜると、芋の皮がむけて綺麗になる。そんなものだ」と言われたそうです。私たちは芋なのですね。

職業奉仕をあまり難しく考える必要は無いと思います。ただ、ひたすらにロータリーの奉仕活動を続けていくことです。そのうちに見栄えの良い食べごろの芋になるのです。

パスト会長を初めベテラン会員に一言申し上げたい。CLPに成功しているクラブへ行って、「CLPの最大障害要因は何でしょうね？」と尋ねると、決まって「古参会員だ」と言うのです。だからといって遠慮することは無いですよ。どんどん若い会員へ文句を言いましょ。皆さんは過去に大変な努力をされて、我がクラブに大きな貢献をされています。でも、それを若い会員は見えないのです。ですから過去の栄光だけでは若い会員は言うことを聞きません。今現在、どれだけの奉仕活動をしているかが大切なのです。一兵卒になってやりましょ。その上で若い会員へ苦言を呈しましょ。

若い会員にも一言いいたいです。今の若い会員は打たれ弱いのです。ちょっと古参の会員に言われると、黙ってしまう。私が入会したときは最年少会員でした。周囲はチャーターメンバーや年寄り会員ばかりです。彼らに取って、私は扱い難い新会員だったと思いますよ。他

人が右と言えば、左と言う性格ですから。常に議論が絶えませんでした。でも、私はクラブの奉仕活動は結構一生懸命やった方なのです。ですから、私の言うことは皆さん聞いてくれました。ベテラン会員から一言いわれたら、こう言い返してください。「10年後の市原ロータリーは我々が運営するのだから、我々の思うようにやらせろ」と。ただし、奉仕の実践活動をしていなければ、能書きは通りませんよ。

これからCLPが本稼動します。先月クラブ活性化テストが終わりました。これはクラブの良し悪しを採点するもので、52.7点は中クラスの中というところでしょう。一年後に同じテストをしたときに65点以上が取れなかったら、万崎会長を誉めないよ、と本人に言いました。その後の2年後には70点にしたいですね。その時のクラブは活性化し、例会に来るのが楽しみになるでしょう。会員数もきっと大幅増加しているのです。

この後はクラブ満足度アンケートを行います。これは全会員がどのようなクラブになることを望んでいるかの聞き取り調査です。ひとつはリストラですね。人員整理ではありません。英語で言うRestructuringです。贅肉を落とし、効率の良いクラブ運営を行うための提案をお願いします。次いで、リストラで浮いた時間に新たな奉仕活動を組み入れて行きましょ。この二つの目的を達成するために、このアンケートで得た皆さんの提案を基に今年下期は5回に渡るテーブルディスカッションを予定しています。8～9人の小グループで皆さんの夢を具現化すべく、とことんゴリゴリ話し合いましょ。きっとおもしろい例会になると思います。こうして社会に貢献できるクラブが出来上がったときに、社会から尊敬される真のロータリークラブが出来上がりますし、入会者も増えると確信しています。

その日を夢見て、老いも若さも、こぞってゴリゴリやりましょ。

●ニコニコ・ソーリー

上條会員

薄っぺらな卓話を聞いてもらいました。

小池会員

9月2日（水）、第1回会員研修懇話会を開催致しました。7名の参加で2時間勉強し、その後歓談し、最初としては無事終了することができました。第2回もよろしくご参加をお願いします。

万崎会長・平野幹事

上條会員、卓話ありがとうございます。李さんようこそ。

●出席報告

前々回確定 77.78% 本日出席 27名

欠席 14名 本日出席率 77.14%

■点鐘 市原RC会長 万崎英正

Temerloh & Petalingjaya RC2015/16

合同グローバル補助金計画提案書

概 要

この計画のR財団グローバル補助金は Temerloh と Petaling jaya 双方のRCで企画され、それに日本の RI2790 地区（P J R Cの姉妹クラブである市原RCを經由）の協賛でなりたちます。両クラブはTRFグローバル補助金申請の承認を得ているクラブです。

このプロジェクトは Paya Mengkuang Orang Asli ビレッジに既存するコミュニティーホールの修繕をするものです。このコミュニティーホールは図書館、コンピューター室、ボランティア指導者のための部屋からなり、2つのトイレも必要です。

必要性

Paya Mengkuang Orang Asli ビレッジは Pahang 州に位置し、Temerloh 街の郊外です。村には 90 人の Orang Asli の子供達に学校として提供されているコミュニティーホールが現存します。近辺にた学校はありますが、これらの Orang Asli の子供達はいろいろな社会的理由により、通常の学校には行きません。それ故に 2012 にライフのサイエンスは 7 月 24 日付けで地方NGO団体（BMF：ベルジャヤグループの寄付団体）がマレーシアの貧しい人々に社会教育を施すための学校を設立することを報じています。

登録されている子供達は Mengkuang Orang Asli の 90 人を含む 91 人です。子供達は 7~14 才で、41%が男子、59%が女子です。ボランティアの指導者（CDO）はこの子供達に英語、IT、社会的な能力を教えています。現在の先生はセルビア出身の Alexander Isailovic さんです。

コミュニティーホールが建物は供給していますが、学校としてより効率的に運営するためにはあらゆる基本的な物が不足しています。





Mengkuang Orang Asli 村のコミュニティーホールは学校として使われている。10 台のデスク PC が壁側に置かれている。ボランティア先生の部屋は図書棚のパネルとパーティションでホールを仕切ったところに置かれている。



10 台のデスク PC が壁際に置かれています



図書室の棚にはほとんど本はありません



ボランティア先生生活室

学校は 2012 年の開講で、我々は学校が Paya Mengkuang Orang Asli ヴィレッジの子供たちに基礎教育を与え続けると確信しています。しかし、SOLS24/7 とマレーシア財団は彼らの計画 100 を通して 100 の施設を作るのが目標です。彼らは現状の必需品以上のより良い設備を供給することはできません。

目的

R財団グローバル補助金プロジェクトの目的は、この学校の年長組の学生をメイン学校に移すための教育政策を取ることで、メイン学校で授業を受けるための基礎知識の教育を施していきます。

計画

Paya Mengkuang SOLS-BMF センターの学生は、月曜日から金曜日までクラスに出席します。毎金曜日の夕方は CDO 計画の社会教育または映画鑑賞を行います。一ヶ月間は手工芸または料理の実施教育を行います。そのようにすることを Local Asli community は完全に了承しました。

この計画は図書館、コンピューター室、ボランティア先生が生活する部屋の 3 つの部屋をホールの外壁に沿って備えます。また、男子用トイレと女子用トイレを計画しています。

改良された施設は学生達に勉学のためのより良い環境を提供し、メイン学校へ入学させるでしょう。

ボランティア先生へのより良い宿泊設備は彼らのより効率的・効果的教育を行う動機付けになるでしょう。地元社会と Orange Asli 情報部の同意は既に得ています。工事業者は改築内容を承知しています。地元コミュニティーは地域を改革する力をしっかり持っています。改革に積極的に従事する人々には、それに見合った賃金が支払われます。

CDO Josha のアドバイスに基づいて、図書館の本はセンターに来る学生に適した書籍を購入します。既存のコンピューターはかなり古く時代遅れのもので、買換えが必要です。

図書室は読書室としての机・椅子を備える予定で、それは他のレクリエーションや教育の場にもなります。

持続性

Temerloh RC は Paya Mengkuang Orang Asli 村に近く、3 人の委員が担当しており、彼らは村と SOLS-BMF からコミュニティーセンターへ派遣された CDO へ常にコンタクトしており、学生達の進捗状況を監視しています

予 算

	記述	見積
1	コンピューター室、図書室、ボランティア先生の為の個室、2つのトイレを設けるための既存のコミュニティーホールを改築する材料費、労賃、組立費用	US\$10,000.00
	小計	US\$10,000.00
2	家具 コンピューター机・椅子 6ヶ コンピューター室の書棚 6ヶ 図書室用の書棚 10ヶ 図書室のテーブルと椅子 20ヶ 先生の寝室用ベットと衣料ケース	US\$1,000.00 US\$1,000.00 US\$1,500.00 US\$1,000.00 US\$500.00
	小計	US\$5,000.00
3	備品 デスクトップコンピューター 6機 視聴覚教育機 コンピューター室&図書室空調	US\$5,000.00 US\$1,000.00 US\$3,000.00

	書籍	US\$5,000.00
	小計	US\$14,000.00
4	供給資材、修繕とフェンス補強のための労賃&組立費用、	US\$5,000.00
	小計	US\$5,000.00
	合計	US\$34,000.00

この見積もりは、このプロジェクトに見積参加した供給者、販売者、工事業者からの見積提出額を集計したものです。

財 源

Temerloh RC と Petaling Jaya RC はこのプロジェクトのために地区に USD10,000 の DDF を申し込んでいます。両クラブはその条件とされる 50% の DDF 充当金として、各々 USD2,500 を今年度用意しております。Petaling Jaya RC は常に R 財団に誠実なクラブで、毎年の基金寄付に貢献しております。2014/25 で、当クラブは USD25,000 の目標オーバーの基金を拠出しております。そして今後も毎年 USD2,500 を超過する基金を寄付し続けるでしょう。

Temerloh RC もまた R 財団への寄付に貢献しているクラブで、2015/16 年度も USD2,500 以上の寄付を続けるでしょう。

国際的パートナーとして、Petaling Jaya RC は姉妹クラブである日本の 2790 地区市原 RC へ USD7,000 の協力を要請しています。

3300 地区と 2790 地区で USD17,000 を、このプロジェクトへ拠出します。R 財団より USD17,000 のグローバル補助金をこのプロジェクトへ支給くださいますようお願い申し上げます。

結 論

Temerloh RC と Petaling Jaya RC は Paya Mengkuang Orang Asli 村が必要としている基礎教育を子供たちに提供している施設を強化するために、そしてこのプロジェクトが 3300 地区の価値ある支援となり、R 財団のグローバル補助金が有効に生かされると確信しています。

Petaling Jaya/Temerloh

2015 年 8 月 5 日

DDF: District Designated Fund (DDF) 地区財団活動資金

地区がロータリー財団へ寄せる寄付の 50 パーセントおよび 調整額。

TRF : Trustees of The Rotary Foundation ロータリー財団管理委員会

RI 理事会の同意により RI 会長により任命されるロータリー 財団の管理
理事会。財団のすべての業務は管理委員会に より運営され、ロータリー財団の
法人設立に関する定款に 記載されている財団法人としての目的の推進がその
責務である。